

KSKP

Threshold

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニュースレター Vol.44

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュョルドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です



You were born to be loved (君は愛されるために生まれた)

この夏は様々なことがありましたが、依存症者にとってはこの夏が大惨事が平和で平安な夏だったか？というのは結局自分の心の持ちようだと思います。というのも、私が依存症の問題がどうにもならず苦しみがいているあの頃は、この世の中は「地獄」でした。

私がこんなふうになったのもこの世界のせいだ！誰も助けてくれないじゃないか！偽善者どもめ！

こんなふうにししか思えなかったし、こんなふうに思っても人恋しくて涙ばかり拭っていました。

世界はあの頃からそんなに変わっていないと思います。ITや制度などオンラインなどの変化は大きくあったしコロナという大惨事もありました。が、人はそんなに変わっていないんだと思います。ですが、あの頃は恨みしかなかったですが、今は人の優しさをじわっと感じる事ができたり、そんなことを思うと、優しい気持ちになれたり、大問題が起きてても安心する気持ちを忘れないように生きたり、感謝の気持ちが常に一緒にあったり、まるで全く違う世界に来てしまったくらいの変りようです。

この世界には、未だドラックから解放された生き方を見つけられず、当時の私と同じように「地獄」を彷徨っている仲間たちがたくさんいます。世界がどんなに素晴らしくても「地獄」なのです。

感謝の気持ちがこころをぶれないように平安で居させてくれるという世界を伝えていきたいと思いますし、先日玉造教会で「障害者のためのミサ」に参加しました。私が洗礼を受けた下館教会のことをずっと思い出していました。私が回復の道を見つけたあの道とあの場所を旅したい気持ちで穏やかな時間を過ごしています。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18 ←郵便物はこちらへ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

西宮ファミリーカウンセリングオフィス

〒663-8177 兵庫県西宮市甲子園七番町 9-18 H2O 甲子園 303 TEL 078-600-9525

共同生活援助(グループホーム) リカバリーホーム TEL078-647-7744 (神戸市須磨区)

リカバリーホーム 2&3 TEL078-764-6988(神戸市垂水区)

SPEAK EASY(タコス&お弁当販売) 神戸市長田区久保町 3-6-9 1F TEL 078-584-3902

指定就労継続支援 B 型(10 月より)事業所 ぱっくやーど 神戸市長田区久保町 3-6-9

姫路アディクションサポートセンター Tel 079-255-5033

智頭リトリートヴィレッジ 〒689-1411 鳥取県八頭郡智頭町八河谷杉の木ランド テニスコート下

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

NA コンベンション in 名古屋に参加して

神戸ダルク代表 梅田靖規

名古屋市公会堂、僕が 21 年前に最後に逮捕された場所だ。新型コロナウイルスで日本中の仲間たちが集まるこのナルコティクス アノニマスの全国大会が何年も何年も実現できなかった。そして 2024 年ようやく開催することができた。まずは大会を開催してくれた名古屋の仲間たちに心から感謝いたします。

一昨年、そんな気持ちを抱き、私はエジプトで行われたヨーロッパコンベンションでの会議と大会に参加した。

カイロの中心地にあるアメリカが管理するアメリカの大学のキャンパスで行われ、キャンパスへ続く門をくぐった時に「帰ってきた…」という気持ちで私の瞳は涙でいっぱいになった。

それが日本でも名古屋で開催された。私の地元だ。

JR 金山駅近くのクラブで逮捕状を持った刑事から逃げるために名古屋市公会堂南の駐車場に入った時に袋小路になって、取り押さえられて逮捕された。ゲームセットでリセットボタンを押すような気持ちと、意味のわからない不安の入り混じった気持ちは今でも忘れることはできない。そんな場所第 16 回のリージョナルコンベンションが行われた。

会場で一番安心したのは、ここはスイスのような永世中立国的な感覚だ。怒りも痛みも全てここでは免除されるような気持ちだ。私は「ただいま」という気持ちを心のかかなり深いところで感じていた。

実は私たち依存症者は、このようなたくさんの人が集まるところは嫌いだ。盛り上がることは好きなのだが、なぜか針の筵(むしろ)のような気分になるので最初に参加した 10 年以上前はあまりいい気分ではなかった。逆に大会が終わった後に、無性に薬が使いたくなった。

前夜祭でのミーティングでは 50 人くらいいたかなあ、大袈裟に聞こえるかもしれないけれど、懐かしい家族たちの団欒の場所のように思えたし、そこにいる仲間たちを自分の誇りにも思えたし、不安でびくびくしている自分もその時だけはいなかった。

「これなんだよ！ずっと待ってたんだよ！こんな瞬間を！」という気持ち、エジプトで感じた気持ちよりも遥かに大きなパワーを感じた。偉大な力とはこの感覚の中にあるのかもしれない。最後に行ったカウントダウンでも思ったのだが、クリーン 5 年までの人が、無茶苦茶たくさんいた。私はそのことがすごいと思った。というのも、この 5 年間一度もこのような大会に参加したことがない人たちがクリーンを今日まで保っている。たとえコロナ禍であろうと、依存症者の夜は眠らない。なんとかダルクの中でハグも知らない仲間たちが、シノギを削り 5 年もの間生きながらえてきたという現実があるのだ。そして何よりも、そのコンベンションを知らない仲間たちが、僕らのこのリージョナルコンベンションを体験してくれたことが、私は一番嬉しかった。昔は、自分が一番前にいなければいけなかった気持ちで参加していたけれど、今では仲間たちが、まるで田舎から新宿歌舞伎町に出てきた青年たちのような顔でコンベンションに参加している姿がクールだ。私も田舎町で天狗になっていて、コンベンションに参加し、ステージの上で話している見たこともない仲間の体験談に、天狗の鼻をまんまとへし折られたのは、今となっては昔の話。

そしてコンベンションで地元に戻ってくるというのは、私にとってとても意味があること。

今から 30 年前、この名古屋という街は、僕にとって青春のすべてであり、そこには仲間がいて、誇りに思う大切な街で、自分はこの街でずっと生きていくんだろうと思っていた。

そして 20 年前、この名古屋は僕にとって寂しい場所で、白い悪魔と対話するだけの、全てがモノクロにぼやけていた街。

今私はこの街で育ったことも、この街にいた仲間たちも、そこで出会えた人たちも、僕にとっては大切な誇りであり、いつでも帰ってくることができる場所。そこにはナルコティクス アノニマスで新しい元気で熱い仲間たちが、次の時代を作ってくれている。

3 日間行われたリージョナルコンベンションの最終日のメインの時間、私は会場の外で数名の会場に入ることが苦痛で一人にさせてくれとオーウを出す仲間たちが、寂しそうな顔で一人で座ってい



るのを見つけた。

これは、17 年前の俺だ。私はあの時、全く知らない仲間が話しかけてくれたように話しかけてみた。誰かわからない仲間と、相手からしたら誰かわからない仲間の僕が、普通にくだらない会話をしてる 17 年前の自分と話しているような気持ちで、それが一番僕にとっては貴重な時間だったように思える。もう、この世からコロナは無くならないと TV で発表されたあの日から、こんな日が来るとは思えなかった。私も名古屋駅西口で路上に座り込み、売人と以外会話することない人生は永遠に続くと思っていたが、今日という日がある。

第 9 回のコンベンションで私は封印していた DJ をしたのだがそれ以来 10 年ぶりに DJ をさせてもらった。ここからは仕込みなのだが最後の曲に「花束」という曲をチョイスし、フロアで踊っている自分の奥さんに用意していた感謝の気持ちの花束をプレゼントした。こういう気持ちを忘れてはいけない。そんな気持ちを思い出させてくれるコンベンション。

来年は群馬の高崎で開催。日々の生活は苦悩ばかりの私たち依存症者ですが、そんなことを忘れてありのままで笑える優しい自分に出会えるこの大会におじいちゃんになっても参加していきたいものです。



WCNA に参加して

スタッフ ゆう

こんにちは。スタッフのゆうです。今回人生2度目となるナルコティクスアノニマス(薬物依存症の自助グループ)の世界大会に参加してきました。コロナ禍でずっと会えなかった古い仲間のジョー‘おじいちゃん’(笑)にも子どもたちの顔を見ることができました。他にもフェイスブックで繋がっている大切な仲間数人にも会えました。最後の最後には、来日した際にうちの自宅に泊まっていつてくれた仲間に会うことができ、待ち合わせや連絡をしたわけでもないのに、あの人数の中、本当に奇跡のようでした。



会場を歩いていると「Are you from?」と結構な頻度で訊ねられます。「Japan!」と答えると「わお！Japan?!一緒に写真撮って！」と。一体何枚、何人と撮ったかわかりません。次の日はせつくなので和装でと思い、浴衣で会場へ向かうと1メートル進むごとに「私と写真撮って！」と、昨日の何十倍の勢いと人数の人たちに声をかけられました。全然前にすすめません(笑)

肝心の夜のメインスピーカーは子どもたちが疲れてぐずっていたので、ホテルに帰り、そこからストリーミングで同時通訳してくださったものを聴くことができました。これは大変画期的で、時差はありますが世界中どこにいても生きたスピーカーを聴くことができ、本当にすごいなと思いました。通訳をしてくださった仲間に感謝、プログラマーに感謝。日本のコンベンションもそうですが、色んな仲間たちの力で作りあげられているのだとあらためてきづかされました。

メインスピーカーの中でも特に印象に残ったのがある既婚者の女性の仲間の話でした。もし自分が同じ立場だったら…と考えた時に、自身の回復のために同じことが出来るかと思うと、彼女の勇氣とコンベンションのテーマでもあった『Power of Love』に自分を越えた偉大な力の働きを感じました。

夫の計らいで、PR のワークショップにもまたしても仲間の通訳付きで参加でき、とても充実したコンベンションになりました。

コンベンションを終えてから、観光にも行きましたが、私があまりにも地理がわからなすぎて途中夫婦間に陰悪なムードが流れました(笑)。結果的に行きたいところは大体行けたので満足です。

余談ですが SATC の撮影でキャリーが住んでいたマンションに行って写真をとることができたのが最高に最高に嬉しかったです。ぶつくさ言いながらも連れて行ってくれた夫に感謝しています。ありがとう。

私たち依存症者が、クスリやアルコールを使わずに生きる毎日を重ねていくことは、時としてひどい痛みや苦しみも伴うこともあります。しかし、たとえそれが傍目からみてどんなに小さな問題でもプログラムに従い超えられた時、そこを超えた人しか見えない景色があることを私たちは知っています。そしてそれを、この先も伝え続けていきたいと思いました。



‘すべて疲れたもの、重荷を負ったものはわたしのところへ来なさい。わたしが休ませてあげよう。わたしの軛は負いやすく私の荷は軽いからである。’(マタイ伝)

吊り橋の里キャンプ

タカ

繋がって2年と11ヶ月になります。終戦記念日から2泊3日で十津川村にキャンプに行きました。毎年恒例だったのですが去年は天候不良で代替地やったような気がします。

(※同じ場所でやっています)

朝早くから準備してラムーに氷を買いに行ったのですが「いつもの事ではあるけれど」焦ってバタバタやっていると駐車券を失くして罰金が三千円！って一日の生活費超えとるがな！と最悪のスタートになりました。

昨日の朝も灘区役所の面談忘れて行ったり来たりの日を過ごしました。

現地に向かう途中でも高速ではぐれて面倒臭い事になるが合流して無事に着く。テントの設営もなかなか大変だったが皆が協力して何かええ感じやった。ファイヤーMTで昨日のバタバタ劇を話す。翌日は朝から生活費配ろうと思ったらお金が見つからず往生する。事務所に電話して探してもらうと見つかった。

表題の吊り橋に行くのが遅れる。吊り橋を渡っていると施設長が下からドローンを飛ばしていて自分達と同じ高さまで上がって来て何かカッコ良かった。午後からは何とか渓谷に行って川遊びをして夕食を食べる。串焼きバーベキューで見た目もキレイでとても美味しかった。

夕食後、みずのは温泉に入って生活費を立て替えてもらった分をジュースとか買って千円札にくずしてもらう。帰ると21:00過ぎておりゲートが閉まっていた面倒臭い事になるが何とか通してもらう事が出来た。ファイヤーMTで昨日今日の失敗で自分が振り回されている事を話した。

早いもので最終日メディテーション MT から朝食後、テントや様々な片付けをする。高速乗る前にコンビニで昼食を摂って帰る。デイに着いて荷物と食材を降ろしてNA 賀川記念館の MT に行く。テーマは「ステップ 10」で最近の一連の失敗を話す。キャンプが終わって一昨年一緒にキャンプに行ったメンバーの事も思い出したし、振り返ると様々な事があるが懐かしくもあり愛おしく思える今日この頃です。ありがとうございました。



B 型カフェとこども食堂

タク

こんにちは、依存症のたくです。今、私が神戸ダルクで担当してるのは B 型カフェです。毎週、月曜から土曜まで営業しています。時間は 11 時 30 分から 3 時 30 分です。

本当は沖縄タコスがメインなのですが、最近はアイスコーヒーやカフェラテなどが流行っています。2 つとも本格的に作っています。特にカフェラテは本当の牛乳を使っています。カフェにしてから女性のお客が増えました。夏になってからは、かき氷も販売しています。お客様の目の前で氷を削るというサービスもしています。



去年からこども食堂もしています。毎月、第 2、第 4 の土曜日、20 食限定ですが、夕方の 4 時から 5 時まで販売しています。最初始めた頃は売れ残りの方が多かったのですが、最近では 20 食ほぼ完売です。こども食堂に関しては、弁当を売るだけでなく夏はかき氷と、ところてんのサービスをしています。ところてんに関しては前日に鍋で 40 分かけて煮込み仕込みをしての全て手作りで、以前来た子供はところてんを食べた事のない子が多く、ふしぎな顔をして食べています。あと子供にとろてんの道具を自分で押してもらって皿に出してもらっていますが、みんな初めての体験なのか、ちゅるっとところてんが出てくると笑顔で押しています。

また、関西と関東で味付けが違うみたいで、最初に甘くするか酢醤油でいくか悩みました。

夏が終わってからはお菓子釣りをサービスしています。お菓子に金具を付けてそれを磁石の付いた釣りざおで釣り上げるというものです。最初は人見知りしていた子供も、帰る頃にはみんな笑顔で帰っていきます。「バイバイまたねー」と言う「バイバイまたくるね」となんとも言えない笑顔を見ると、こども食堂をやって良かったなと思う瞬間です。

普段社会と関わりを持たない私ですが、こういう事が社会復帰の第一歩なのではと感じました。これからも続けていきたいと思っています。

体験談

コウシ

こんにちは、アディクトのコウシです。自分は今から 1 ヶ月と 2 週間前、山形県の鶴岡ダルクから現在いる神戸ダルクへと、何か問題を起こして来たのではなく、色々事情があり、自分からお願いして神戸ダルクへと来ました。

自分は田舎育ちで子供の頃から都会に行きたいと思っていました。鶴岡ダルクも田舎で、ずっと田舎にばかりいました。そういうこともあり、神戸ダルクへ来て良かったと思っています。

自分は処方薬とアルコールに問題があり、実家でのトラブルと将来への不安で琵琶湖ダルクに相談をし最初は通所だったのですが何も解決せず、入寮しました。入寮してからでもリラプスばかりで、鶴岡ダルクに移動になり、鶴岡ダルクに来てからでも、問題をよく起こしていました。その原因は、このことだけではないのですが、普段飲んでる処方薬を無理に減らしたことが一番の原因です。自分は処方薬さえなくせば全部解決すると思っていましたが、それだけではないことに気付きました。自分の性格上の欠点や物の考え方にも、問題があることに気付きました。それからは処方薬も減らさず、自分の問題に目を向けてトラブルや気持ちの浮き沈みを減らすようにして、自分がやらなければいけないことを、今でもやっています。

自分はダルクにつながって期間が長いのですが、今の自分があるのは琵琶湖ダルクと鶴岡ダルクのおかげで、特に鶴岡ダルクには長い期間いたので、鶴岡ダルクでの経験はかなり活かされています。鶴岡ダルクにつながり、クリーンも続き、生活も楽しくなりました。ですが嫌な事もありました。ですがその嫌な事を乗り越えて、良い生活を送れるようになっていきました。実際、遠回りしたと思うこともありますが、次は遠回りしないと固く決意しているので、神戸ダルクでの経験を無駄にしないように、これからもクリーンを続けていきたいと思っています。

助成金と皆様の寄付金でトラクターが神戸ダルクにやってきました

皆様、ついに神戸ダルクの畑にトラクターがやってきました。
神戸やまぶき財団様の助成によって、イセキのトラクターと、
発電機、草刈機を購入することができました。
今まで畝作りに悪戦苦闘していましたが、かなり楽になると、
よい野菜ができると楽しみにしています。
助成金報告に関しましては、年度末のニュースレターで
ちゃんとお報告いたします。
少し自費負担がありましたが、皆様の寄付金の中から、
352,940 円を捻出させていただきました。
誠にありがとうございます。



ブラック

アディクトたちのキャンプ 岡山県中蒜山

「えっ！又キャンプ」
「うわー又キャンプだあ」
「めんどくさいなー」

いつもキャンプに行くと聞くと文句しか出ないのが仲間達の悲しき
性である。いつも行ったら行ったでそれなりに皆楽しんでいる。
今年、二回目のキャンプ。
一回目は十津川、そして今回は蒜山高原。
山の中での二泊のキャンプである。

いざ出発前、必ず始まるのが、あれ積んだこれ積んだ問題。
一度車に積んだ荷物をもう一度降して荷物の再確認。
それでも必ず忘れ物がある。

現地に到着すると

「あれ積んでないやん」
「わっ、あれが足らん、これ足らん」と始まる。
今回はカレーを調理する鍋を忘れた。

鍋なくしてどうやってカレー作るのよ。

でも不思議とどうにかなるのが神戸ダルクである。

さて、テント設営になると、今回は新しいテントが二張り
「どうやって組み立てるのか？」説明書がなんと英語。
それでも写真を見ながら「あーじゃない、こーじゃない」
不思議と何となくテントが組み上がるのも神戸ダルクである。

設営が一段落すると、調理とサイクリング班に分かれて
プログラムが始まる。

何年ぶりの自転車だろうか。

しかも高原とはいえ、アップダウンが激しい道。

かなりの距離を

「死ぬー」とか

「もーダメ」とか言いながらも、

途中で食べたソフトクリームのおいしい事。「うまいなー」と
言いながら、さっきの文句はどこにいったの、
というのも神戸ダルクの良きところである。

夜になり、満天の星を見ながら眠りにつくとなんとなく少し、
ほんのりと幸せな気分になってくる。
これは生きているから味わえると思った。



活動報告

6 月
鳥取ログハウス野外研修
姫路書写ハートフルゴルフ大会
FSG オンライン家族教室
ソフトボール&野外ミーティング
加古川学園家族教室&カウンセリング
NA RSC 参加
宮崎ダルク訪問
ドキュメンタリー撮影 AXION
加古川学園講演&ミーティング
播磨社会復帰促進センター薬物離脱指導
TIC ワーク
TC オンライン勉強会参加
7 月
美祢社会復帰促進センターメッセージ
播磨社会復帰促進センター薬物離脱指導
NA 法人化総会参加
YCARP オンライン講演「あなたの声を届ける」
播磨学園様来訪
松山刑務所薬物離脱指導
NA コンベンション名古屋参加
8 月
加古川学園講演&家族教室
十津川村キャンプ2泊3日
ジャミンコラボウィーク開催
姫路 ASC 改修工事(セキュリティ)
播磨社会復帰促進センター薬物離脱指導
RSC 座談会参加
ワールドコンベンション参加
9 月
ソフトボール
加古川学園ミーティング&カウンセリング
鳥取ログハウス研修
沖縄 大きな和理事化参加
WSC CP 会議参加
障害者のためのミサ玉造教会
中蒜山キャンプ2泊3日
サイクリング中蒜山
播磨矯正展参加
10 月
大阪コミュニティ財団説明会参加
サービス管理責任者研修
播磨社会復帰促進センター薬物離脱指導
保護観察所 引受人会講演
休眠預金シンポジウム
播磨社会復帰促進センター薬物離脱指導
加西市立泉中学校講演
サービス管理責任者オンライン研修

定期開催
姫路家族教室 毎月第2土曜日
神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日
姫路無料家族相談 毎月第1火曜日
尼崎無料家族相談 毎月第1水曜日
垂水病院すまーぷ参加 毎週金曜日
垂水病院ダルクメッセージ毎月第3火曜日
保護観察所すまーぷ 毎月第4金曜日
ヨーガプログラム 毎月1回
子ども食堂開催毎月2回
TIC 学習会毎月1回

近況報告・活動予定

本年度に予定していた「リカバリーデイ」というイベントの準備をしていますが、会場予定地が「モノ展」で借りられないと聞き、てんやわんやしている今日この頃です。
依存症というのは、昔は悪魔が取り憑いたということで、本当にそういう治療が行われていました。私も自分で悪魔が取り憑いたと思っていた頃もありました。
回復の過程で恨みや嫉妬、自分ではなく他人のせい、そういうものはついて回ります。そんな憎悪のない生活を手に入れる喜びをどうやって説明していいかと時に大きく悩むことがあります。NA の会議で「一番大切なもの」という話になり、世界中のほとんどのメンバーが「謙虚さ」という言葉を選びました。
私が一番嫌いだった言葉です。朝起きた時にこの言葉を唱えるようにしています。今日という日を大切に

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」
年間購読のお願い

この広報誌「スレッシュヨルド」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便の取得ができました。年間購読費は年6回発行で2000円になります。お申し込みはFAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。
※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。
兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。
個人会員は1口 3000円（ニューズレター定期購読料を含む）からになります。刑務所内の方々との文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。
ご連絡をお待ちしています。
領収書希望の方は一言ご記載ください
神戸ダルク ヴィレッジ
TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741
e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談
相談の内容に関する秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援
刑務所・拘置所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。
★月曜～金曜 10:00～17:00
メールは24時間OK。

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献品

山崎 圭 様 林谷 みどり 様 灘山 将之 様 井上 敏榮 様 生田 茂美 様 森保 純子 様

ご献金

宮崎ダルク 外山 美香 様 中西 礼皇 様 千葉菜の花家族会 富井 建夫 様 間 明子 様
明石キリストの教会 様 畠山 茂祥 様 久保田 勤 様 関西医科大学リハビリテーション学部 林 良太 様
佐々木 光明 様 他匿名希望 1 名

(令和 6 年 5 月 28 日～令和 6 年 10 月 10 日到着分・順不同 ※購読料・支援会費の方を含む)

寄付や献品のお願い

引き続き、非常に苦しい状況の中、お米などのご支援ありがとうございます。昨年度はお米の寄付をたくさんいただいて、なんとかみんな空腹で苦しむことなく、お腹いっぱいご飯を食べることができました。また、ご家庭で余っている食料品（米、野菜、乾物、味噌、醤油など）から洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。たくさんありましたら、車で取りにいくこともできます。洗剤などもたくさんいただいたので非常に助かっています。今非常に助かるのは、食材や日用品です。コロナの影響で外出が少ないため、ストレス発散には、どうしても食事が進んでいきます。心苦しいですが、ご協力をよろしくお願いいたします。また、ボランティア活動も気軽にお声掛けください。私たちは体力だけではありませんので、荷物運搬など気軽にお声掛けください。日々の感謝をそのようなことで返したいと思っています。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

編集後記

しばらくバタバタドタドタしていたこともあり、ニューズレターが発行できなくてとてもお待たせしました。刑務所の中からも「まだ次のやつが届かないんですが」と言われますが、ようやく発行できました。次は年末と年始に「新根ご挨拶号」となります。ついに 44 号までできました。100 号までこのペースだと 8 年くらい先ですが、その時にどれだけの人が回復という道の通過点として一緒に過ごしているでしょう。希望を失わず諦めなければ依存症はどうにかなるということを知ってほしいですね。

神戸ダルク ニューズレター Threshold (出発点) Vol.44
編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田靖規
印刷 プリントパック
〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18
TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741
e-mail kobe.darc@gmail.com
www.kobedarc.org
価格 1 部 100 円 年会費 3000 円
(購読料は年会費に入ります)
発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階